発行：プロジェクトアドベンチャージャパン　paj@pajapan.com　Phone：03-3406-8804　Fax：03-5467-7018
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-6-12 ベルデ青山6F

※フツウのケケトンボでもできます。　※PAJで1本28円＋税で販売中

チャレンジ　バイ　チョイス

お互いを最大限に尊重する

プロジェクトアドベンチャー NEWS LETTER #002

フル　パワー

自分の挑戦は自分で決める

（2013年11月）

2014年 PA体験会

学校教育関係者＆学生対象

PAを全く知らない方、いくつかのアクティビティはやったことがあるけれどまだイメージがわかない方、アドベンチャー体験をしてみたい方、学校で取り入れたい方、ぜひご参加ください!!
様々なアクティビティとロープスコース（ローエレメント＆ハイエレメント）を体験することで教育現場で生かす入口にしていただければと思います。

2014年 3月2日（高尾の森わくわくビレッジ）
7月5日
11月8日
} 場所未定（東京）
※決定次第、HPにてご案内します。

＊各回共
9:00～17:00
＊参加費
大人　5,000円＋税
学生　4,000円＋税
（18才以上）

PAJで行なっている学校プログラムの一部をご紹介します。

先生向けのプログラム

PAJの学校プログラムは、「先生にPAを知ってもらって活用してほしい」という願いから、先生への研修を中心に置いています。内容は「クラスの中でPAをどんな風に取り入れたらいいだろう？」「宿泊研修で教員がファシリテートして半日のPAをやりたい」などのご相談にあわせてその都度、組み立てています。2013年11月には八王子市の小学校での研究授業に関わらせてもらい、研究授業後の協議会の時間に先生向けの体験会を行いました。

学校向けのプログラム

単発の研修だけではなく、宿泊研修、行事、授業、クラスづくりなどに対して、総合的にPAを取り入れている学校もあります。
ある高校では、3月から先生の研修を始め、4月の新入生オリエンテーションキャンプで先生がPAをファシリテート、5・9・11月にPAJトレーナーが授業を担当する、という年間でのプログラムを実施しています。また別の中高一貫校では、中1～高1まで年に1回ずつ宿泊を伴うPAプログラムを実施する積み上げ型のプログラムを行っています。

PAは創造的であることや楽しむこと、その場、その場で起こることを大切にしている、とても自由度の高いプログラムです。その分、「どうやったらいいの？」という疑問が常に後をついてきます。そんな疑問には、「こうやってみませんか」と答えられるように日々積み重ねながらも「一緒に考えましょう」と近くにいられる存在でありたいと思っています。

アンディ

九州の方で興味のある方はPAJ松村まですずめ

PAJトレーナー おすすめアクティビティ① 『プラトンボキャッチ』

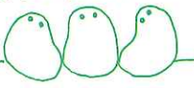
プラトンボとは、ケケトンボの形をしたプラスチック製のPAグッズです。まずはひとりで飛ばしてみましょう。普段扱うことがない道具なので、ただ飛ばすだけで楽しいものです。
自分が飛ばしたプラトンボを自分でキャッチできるかな?!
慣れてきたらペアで！タイミングを合わせて、同時にプラトンボを発射！パートナーのトンボをキャッチします。なかなか思ったように飛ばずに走り回ることも…！見事キャッチしたらガッツポーズで!!

失敗から学ぶ一生懸命に取り組む、互いを思いやる、自分のトンボをキャッチしてもらえる嬉しさなどの要素と、軌道をみて体を動かすという体育としても使える活動的なアクティビティです。

ろ

バンブーリジリエンス について

東日本大震災後、アメリカのPAトレーナー・ジム・ジョーエルと共に宮城県の先生を対象に子どもの心のケアをテーマにした研修を行なっています。（2013年11月までに4回行ないました）
バンブーリジリエンス とは「ケケのようなしなやかさで、グループやコミュニティの中で回復していく力」のことです。アドベンチャーの要素をグループ（クラス）活動の中で活用する中で、お互いに信頼しあえる関係を築いていきながら、個々の回復・成長を目指しています。
バンブーリジリエンスとは別に、宮城県独自の動きもあります。
宮城県では2000年に不登校対策の一環でPAが取り入れられ始めました。**MAP**（みやぎアドベンチャープログラム）と呼ばれています。震災後、MAPを「心の復興支援プログラム」として活用しようという動きがあり、県の依頼を受けて先生への研修も行なっています。
PAJ発の「バンブーリジリエンス」、宮城県発の「心の復興支援プログラム」、さらに震災後注目されている「防災教育」という3つの縄をより合わせ、宮城の先生と共に子どもたちが安心していられる場としての学校を編んでいければと思っています。



2014『クラスのちからを生かす』研修会

教室で活用する方法
アクティビティとクラスづくり
子どもたち自身がクラスをつくる

アイスブレーカー ウォームアップ

開催日程：
2/15～16　「クラスで活かすPA」
3/29　「クラスでアクティビティを使いこなす!①」
5/17～18　「ビーイングを科学する」
8/11～12　「クラスでアクティビティを使いこなす!②」
11月（日程未定）「PA＋（プラス）」

イニシアティブ＋ふりかえり

＊各回共、高尾の森わくわくビレッジにて開催します。
＊1泊2日の回：各30,000円、日帰りの回：各10,000円
＊フルパック割引もあります。

勉強会のご紹介 CHEKI

チェキ：九州アドベンチャー教育研究会
Communication Humanity Education Imagination

2004年にPAJ主催の「学校に役立つPA研修会」の参加者がPAの考え方に共感して自主的に作った勉強会です。この会ではお互いの「コミュニケーション」「人間性」「学びの場」「想像力」を大切にしながら九州からの発信をしています。
学校の先生だけではなく、異業種、異年齢の人が集まって、メーリングリストでの情報交換・実践報告をはじめ、学習会も行なっています。2013年11月には、10年目をお祝いするフォーラム「未来の自分のために今できること」を開催しました。

すずめ